

## 文書の目的についての概要

世界作業療法士連盟(WFOT)は、国際的トレーニングや仕事経験の世界が複雑であることを認める。これは、多くの健康関連専門職や作業療法を含む専門教育プログラムにおいて、主要な関心事となりつつある。このことから、国際的仕事やトレーニング経験の倫理や持続可能性にまつわる問題や関心事が浮上している。作業療法士は、協働的にコミュニティと一緒に取り組んでいく必要があり、こうしたニーズを充足することを熱望しているが、その国にある介入の既存のインフラや持続可能性についても考慮しながら行うことになる。1.この文書の目的は、作業療法という専門職や WFOT の現在の価値と信念を保持しながら、こうした問題を明確にすることである。受入れ側と訪問するパートナーとの双方向的パートナーシップを形成し構築することは、こうした運動を推進する上で不可欠である。

## とるべきポジション

倫理的な国際的仕事トレーニング経験を構成するものは何か、作業療法専門職の哲学、使命、基本的価値観にどのように合致するかを明確に示すことは、WFOT の責任である。作業療法士は、持続可能性、尊重、文化的感受性といった概念を考慮する必要がある。こうした考えは、国際的パートナーその後の関係を育てる努力において達成すべき次の目標を可能にするだろう。

1. 植民地主義やパターンリズムの痕跡を減らし、その代わりに双方向的パートナーシップを育てる
2. 利己的なアプローチを示すような目的や目標を排除する
3. 受入れ側によって定められたプロジェクト目標が達成したり、サービスを継続する場においてプログラムがあるなら、担当者が撤退することを確実にする

## このポジションの重要性と作業療法にとっての問題

国際的仕事とトレーニング経験は、作業療法実践の重要な側であり 2、作業療法専門職の基本概念を示すものである。さらに、こうした経験は作業療法専門職の基本教訓であるクライアント中心の実践と合致するものである。コミュニティの許容力を確立し、作業療法の中心となる価値を構成するものである目的と意味をもつ個人の人生を生きるという本来の注意点を、サポートし強化すべきである。

## 適切な社会におけるポジションの重要性

ケアの原則の倫理に従い 3、相互の努力と利益に基づいた相互依存的関係の維持に、焦点を当てるべきである。短期間コミュニティに実際に出向くことが重要であるが、これは継続的で発展的な協働の関係が維持されることを確実にする上で重要なのである。1.主義や価値が真実となれば、こうした努力は広がりその社会やコミュニティは、豊かになり、持続可能な未来を構築するだろう。

## このポジションの基盤となる論拠

個人の経験よりも倫理や持続可能性に焦点を当ててグローバルパートナーシップを確立することは、コミュニティをエンパワーし、真の双方向性を実現させるだろう 2.この文書に記されている原則を守ることは、グローバルな国際的仕事とトレーニング経験が作業療法専門職の基本的標準になることを確実にする。一貫性があり、持続可能な状態で、全体としてコミュニティや社会の豊かさが保たれることが可能となる。こうした原則は、よりたくましい倫理的枠組みと最終的にパートナー双方の利益に根ざした、グローバルな作業療法実践を可能にする。

## チャレンジとストラテジー

国際的仕事トレーニング経験のためには、多くの段階があり、限定的で矛盾する定義に苦しめられる。サービス学習、ボランティア精神、国際的フィールドワーク、文化的浸潤などの用語がそれにあたる。グローバルな経験を獲得し理解を進めるためのこうした段階すべてに共通する要素はあるが、慎重な考慮が必要な事柄を共有することもある。この教育分野は、援助やサービスの提供を使命として主張しながら、植民地主義の解釈に近づいていく。

さらなるチャレンジは、提供する側からだけの視点で、良い行いをするという個人的信念を克服することを含む。コミュニティの中で探っていくというよりも、与えるというモデルでグローバルな仕事を考える傾向がある。パートナー間の力関係が流動的であるという複雑さがあり、これがしばしば、パターンリスティックに、依存する関係をもつように、受入れ側を弱くしてしまう。相互尊重、協働的パートナーシップ、双

<https://www.wfot.org/resources/ethics-sustainability-and-global-experiences>

(2020年5月2日 吉川ひろみ・訳)

方向的関係という実践モデルを、より一層準備する方向へと変化することが必要である。倫理的配慮, 持続可能性, コミュニティに根付いていくことに関する教育は, 作業療法士の責任である。

### 結論

WFOTは、会員国と作業療法士が、協働的で平等な機会を提供し、持続可能性を保つという関係を打ち立てるために取り組むという基本があると信じている。これは、作業療法士がコミュニティとの関わりを強化し、問題を明確にするための協働を可能にする双方向的関係を創造するネットワークの発展を可能にする。

### 文献

1. Suchdev, P., Ahrens, K., Click, E., Macklin, L., Evangelista, D., & Graham, E. (2007) A model for sustainable short-term international medical trips. *Ambulatory Pediatrics* 7(4), 317-320.
2. Powell, D. L., Gillis, C. L., Hewitt, H. H., & Flint, E. P. (2010). Application of a partnership model for transformative and sustainable international development. *Public Health Nursing* 27 (1), 54-70.
3. The Ethics of International Engagement & Service Learning Project (2011). Ethic of care, retrieved from [http://ethicsofisl.ubc.ca/?page\\_id=170](http://ethicsofisl.ubc.ca/?page_id=170)